

チャーリー・チャップリンの像

下呂市の中心部にある白鷺橋にチャーリー・チャップリン（1889 年-1977 年）の像が建っています。『ザ・キッド』（1921 年）のワンシーンで特徴的な帽子と口ひげ、腕を組んで座った不機嫌ながらも遊び心のある表情を浮かべた彼が表現されています。

チャップリンは英国の俳優、作曲家、映画製作者であり、サイレント映画の大スターでした。彼の日本人の友人である高野虎市は 20 年近くにわたって彼の運転手兼秘書を務め、1932 年の初来日にも同行しました。チャップリンの映画は、大正時代（1912 年-1926 年）と昭和時代（1926 年-1989 年）の初期 に日本で広く人気を博し、歌舞伎の翻案にも影響を与えました。

下呂にあるチャップリン像はハリウッドの特殊効果会社の従業員であるウィリー・ウィッテンによって作成されました。山を背に座るチャップリンは見慣れていると同時に奇妙であり、通行人に面白い写真撮影の機会を提供します。この像は、下呂の街路に映画のような魔法を注入する市の取り組みの一環として 2001 年 11 月に除幕されました。